

～10/7（火）キックオフイベント（松本車両センターでの模擬演習）を開催～  
東日本旅客鉄道株式会社長野支社と国立大学法人信州大学との  
連携事業として観光振興・人材育成の授業を開講します

東日本旅客鉄道株式会社長野支社（以下、JR東日本長野支社）と国立大学法人信州大学（以下、信州大学）は、観光産業への関心を高め、観光人材の育成を目的とした連携事業として授業を開講します。6年目となる当連携事業では、JR松本駅を起点とした地域の観光づくりについて、信州大学生とJR東日本長野支社社員が連携してフィールドワークやディスカッション等を行い、課題解決に向けて取り組みます。

## 1 講座名

2025 年度「価値創造実践ゼミ」

（全学横断特別教育プログラム「ローカル・イノベーター養成コース」「ストラテジー・デザイン人材養成コース」スタートアップ授業）

## 2 授業の特徴

2025 年度は、2027 年 7 月から 9 月の信州デスティネーションキャンペーン（信州 DC）でお客さまに提供すべき価値を提案することをテーマとし、共通課題と自由課題の 2 つの課題に段階的に取り組みます。共通課題では株式会社 JR 東日本サービスクリエーション（以下、JR 東日本サービスクリエーション）の協力の下、車内販売の模擬演習を実施した上で新規販売商品の開拓や増売に向けて既存サービス・商品の価値創造に取組み、自由課題では以下の 5 つのサブテーマと 3 つ又は 4 つの必須要件を設け、松本周辺エリアを軸にした観光分野の新たな価値創造に取り組みます。

### 【サブテーマ】

- ・観光地への移動手段（二次交通）
- ・プロモーション（情報発信・宣伝）
- ・モノ商品（お土産・グルメ）
- ・コト商品（体験イベント・アトラクション）
- ・サービス（Suica・チケットTING）

### 【必須要件】

- ①長野県内（地域限定も可）の観光や生活の魅力向上につながる事
  - ②JR 東日本グループのリソースを活用すること
  - ③国内向け又はインバウンド向けの要素を加味すること
  - ④新商品の企画開発であること
- ※④の必須要件はサブテーマで「モノ商品（お土産・グルメ）」を選択した場合にのみ適用。

## 3 授業の形式

Problem/Project Based Learning : PBL 方式で実施し、リアルな現場においての問題発見、課題設定、課題解決を行いながら、知識を実践的に活用する学びを行います。知識獲得においては、観光に携わる外部講師（実務者）を招聘し、先進的な取り組みや分析視点を学びます。テーマごとにチームを形成し、授業時間外でのフィールド調査分析を行い、最終的に課題解決プログラムを報告会（2026 年 2 月 17 日開催予定）にて提案します。

#### 4 対象・定員

2025 年度「価値創造実践ゼミ」全学生・20 名程度

#### 5 時期

2025 年度後期（2025 年 9 月 30 日～2026 年 2 月）

※事業提案報告会（2026 年 2 月 17 日開催予定）

#### 6 キックオフイベント（松本車両センターでの模擬演習）

本授業の一環として受講生を対象に実施し、特急あずさの車内販売業務への理解を深め、新規販売商品の開拓や増売に向けたきづきを得る機会とします。具体的には JR 東日本サービスクリエーションの協力の下、松本車両センターに留置した車両内で車内販売の模擬演習を実施します。

日時：2025 年 10 月 7 日（火）17：00～19：00

場所：松本車両センター

集合場所：松本駅構内

訪日外国人旅行者専用カウンター「JR EAST Welcome Center MATSUMOTO」



特急あずさ（E353 系）※車両イメージ

内容：アテンダントからの説明及び動きを確認しながら、車内で販売可能な商品の制約や販売時における所作、ワゴン移動のスピード、接客スキル等について理解を深める。